

授業研究による算数・数学教育の革新(Ⅳ)

- 評価法改善と開発途上国に対する国際教育協力に係る教材開発 -

日程: 2010年2月17-21日

場所: 筑波大学東京キャンパス
筑波大学附属小学校
国連大学エリザベスローズ国際会議場(青山)

主催: 筑波大学
共催: 文部科学省、タイ王国コンケン大学
後援: 国際協力機構、日本数学教育学会
日本科学教育学会

講演者: ケイ・クリスティン・ステイシー(OECD-PISA数学専門委員会委員長/オーストラリア)
マリア・G・バルトリーニ・ブッシ(数学教育国際委員会ICMI執行委員/イタリア)
マルセーラ・サンティジャン(前数学教育世界会議CME11組織委員長/メキシコ)
アブラハム・アルカビ(ヘブロウ大学/イスラエル)、清水静海(日本数学教育学会会長/日本) 他



■ 公開シンポジウム (2月20 - 21日)、国連大学エリザベスローズ国際会議場(東京・青山) <同時通訳付/無料>

—— 2月20日(土): 9:30 - 17:00 (受付9:00-)

主題: 評価法の改善

—— 2月21日(日): 9:00 - 17:00

主題: 開発途上国に対する国際教育協力に係る教材開発

- ▶ 開会
- ▶ 基調講演
 - OECD-PISAにおける数学的リテラシーと評価問題
 - 学力調査問題の改善による教育課程の実現
 - 算数授業研究国家プロジェクトによる教師の資質改善
- ▶ APEC各国による小講演:
 - 国際調査上位国における初等中等教育における算数・数学評価法改善
- ▶ パネル

- ▶ 基調講演
 - 20世紀の教材・教具開発史
 - 日本の教科書にみる問題解決の授業
 - 教員研修における教師教育教材の必要と開発
- ▶ APEC各国による小講演:
 - 各国の現職教師用ガイドブックと現職教育教科書
- ▶ パネル
- ▶ 閉会式

■ 専門家会合 (2月17 - 19日) 筑波大学(東京・大塚)

- ▶ 2月17日
 - 到着、APEC授業研究プロジェクト目標の共有
- ▶ 2月18日、19日午後:
 - 筑波大学教育開発国際協力研究センター(CRICED)東京分室
 - 評価法の改善と教材開発に関するワークショップ

- ▶ 2月18日、19日午前:
 - 筑波大学附属小学校
 - 「学習公開・初等教育研修会」に参加
 - 日本在住者は、以下に準じて附属小学校にお申し込み下さい。
 - <http://www.elementary-s.tsukuba.ac.jp/pdf/kenkyu200912.pdf>

● 組織委員会

磯田正美(組織委員長、APECプロジェクト代表者): 筑波大学教育開発国際協力研究センター
 マイトリ・インブラシッタ(APECプロジェクト共同代表者): コンケン大学数学教育研究所
 清水静海: 帝京大学
 馬場卓也: 広島大学
 齋藤 昇: 鳴門教育大学
 服部勝憲: 鳴門教育大学
 溝口達也: 鳥取大学
 小原 豊: 立命館大学

大谷 実: 金沢大学
 岸本忠之: 富山大学
 二宮裕之: 埼玉大学
 西谷 泉: 群馬大学
 大久保和義: 北海道教育大学

【詳細情報・参加登録等】

http://www.criced.tsukuba.ac.jp/math/apec/apec2009/index_jp.php
 公開シンポジウムの座席に限りがあります。参加をお申し込み下さい。

事務局: 筑波大学教育開発国際協力研究センター
 担当: 讃岐勝、宇佐美茉莉、矢原弘樹、TEL: 029-853-6573/2964